

# ハート・オブ・ゴールド

## 通信



vol.25

2011年7月8日発行

発行/編集 ハート・オブ・ゴールド事務局  
本部 〒701-1213 岡山市北区西辛川872-2  
TEL&FAX 086-284-9700  
E-mail:hginfo@hofg.org

URL : <http://www.hofg.org/>



## 3.11 子ども amino プロジェクトー学校を助けよう！

3月11日発生した地震、津波が未曾有の被害をもたらす大震災とわかり、会員、関係者の安否情報収集から始まりました。その後、現地調査、緊急支援物資配布。有森代表も現地入りし、被災学校での活動、へき地避難所で物資配布、教育委員会を訪問し状況調査。人々の生活を根こそぎ破壊し、地域を壊滅させた今回の被害に、中・長期で復興に取り組む必要を改めて強く感じました。

復興の最も大きな柱となるのは「教育」。昔からいつの時代も、日本の発展を支えたのは「教育」の力でした。HGがやってきたカンボジアでの活動も、人材育成、教育です。同じく「3.11 子ども amino プロジェクト」も教育に視点をおいて活動します。明日を担う子ども達と、それを支える現場の先生達のお力になり被災地の復興を応援しましょう。現地活動は、HG 福島クラブ、HG 石巻クラブと連携をとって行います。

### \*募金活動・物資支援

3月20日の淀川国際ハーフマラソンから、募金活動を始めました。また、寄付、物資支援についての問い合わせ、お申し出が多数ありました。

緊急対策の飲料水(500ケース)、4月から新学期が始まることからランドセル(50)、基礎化粧品(100セット)、お菓子(200組)をはじめ、タオル、下着、リターンTシャツなどさまざまな物資が集まり、すべて配布しました。また、大型テレビとDVDプレーヤーセットをいただき、現在、野蒜小と蛇田小に設置。更に、野蒜小には、各学年にテレビ、DVDプレーヤー、耐震棚を寄贈しました。

### \*被災地での活動

4月初めから志澤・武藤リーダーが現地での調査、調整、支援活動を継続しています。4月24-27日は、有森代表、事務局長ほか2名が避難所訪問、東松島、石巻両教育委員

会訪問、野蒜小・蛇田小で授業参加。

HGスタッフと会員さんは、5月16-19日(2名)、6月3-5日(5名)、7月5-7日(4名)が、ボランティアとして学校や避難所、被災者宅などで活動しました。(現在、第9次派遣まで決定しています。)

### \*今後の活動

物資支援は現地からの具体的な要請にもとづいて支援します。現地ボランティア派遣は、会員さんと現地と調整して行います。

「あそぼう 学ぼう サマー キャンプ」(8月19日～21日 山形県最上郡最上町 Outdoor Park 前森高原にて)。被災児童を招待して、2泊3日の宿泊学習を企画。

この企画に参加してくださるボランティアを募集しています(事務局までご連絡を)。

「いつでも、どこでも 体力づくり」—被災学校での取り組みワークショップを計画中。

最後になりましたが、多くの皆様にご協力、ご支援を賜り誠にありがとうございます。今回の大災害は復興まで長い支援が必要とされています。これからも共に活動いただけますよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

このプロジェクトのための募金を下記にお願いしています。振込後、「3.11 子ども支援」に振り込んだことを事務局にご連絡ください。

### 【銀行】

取引銀行：三菱東京UFJ銀行岡山駅前支店

預金種類：普通預金 口座番号：0931214

取引名義：特非)ハート・オブ・ゴールド

### 【郵便振替】

口座番号：01300-3-11024

加入者名：ハート・オブ・ゴールド

※通信欄：必ず「3.11 子ども支援」と記入

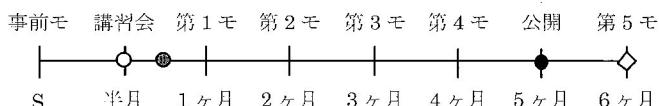
# 『カンボジア体育の成長』

JICA プロジェクトマネージャー 山口 拓

体育科教育振興支援事業 [RECTI-PE]  
JICA 草の根パートナー型支援事業 (JPP)

今回は、第4地域までの普及状況を踏まえて、本事業の発展状況をお伝えしたいと思います。全体的な計画の流れと、地域巡回指導の流れは以下のとおりです。

## ○ 地域巡回指導の流れ（モ：モニタリング）



## ○ 全体計画の流れ

2009		2010		2011		2012
7～12月	1～6月	7～12月	1～6月	7～12月	1～6月	
第1地域	第2地域	第3地域	第4地域	第5地域	最終巡回	
バッタバン	シェム・リップ	シアヌレル	クラチエ	カバエン	バッタバン	
KCH	KTM	KSP	KCM	PVN	シェム・リップ	
PRS	PVH	KPT	RNK	KDL	シアヌレル	
BMC	OMC	KEP	MDK	TKO	クラチエ	
PLN		KKG	STR	PNH	カバエン	

さて、本 RECTI-PE 事業も最終リージョンを目前に控え、ナショナル・トレーナー（以下 NT）に多くの主導権を委ね始めています。これまで ①体育科教育の指導法、②授業の評価手法、③モニタリング手法、④フォローアップ手法、⑤連携促進の方略・手法、⑥授業研究、⑦統計方略（体育環境調査、体力測定）などについて専門家の助言とサポートを頂きながら、1. 人材育成、2. 体制整備という視点で独自の支援を行ってきました。

第1～3地域によって段階的に進められてきた主導権の移転は、第4地域のクラチエ州で、①～⑥の支援内容の全てに関する伝達が終了し、HG は後方支援を行い、NT が運営する段階に進んでいます。

また、教育省による自効力によって、当初、検討されていた小学校体育の「簡易体育施設」（2009）、「体育教具



NTによる小学校体育科指導講習会の様子（サッカー）

および道具」（2010）、「ワークショップ開催」（2011）などに関する予算が確保され、「教員養成課程に於ける体育授業時間の確保」（2010）が達成されるなど、大きな進展を遂げています。

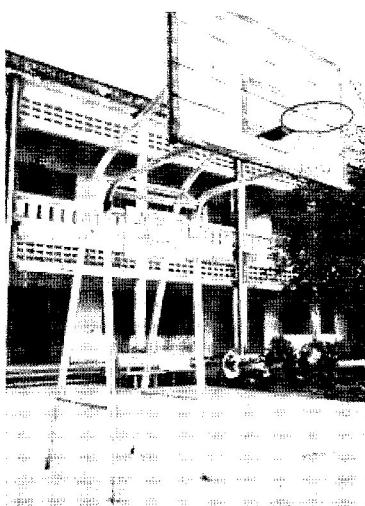
但し、「基本運動系授業の系統的な授業」、「普及時の地域性の考慮」、「州／郡教委を通じた安定的な支援」、「体力測定結果回収の遅延」など、幾つかの課題点も表面化し始めているため、中央行政のみならず、地方行政や学校を含めた支援方略を強化する段階に来ていると感じています。

7月からは、最終地域巡回を迎えることになりますので、こうした課題を考慮しつつ、活動していきます。あと一步で全国24州中の5州に各2校の拠点校が設置されることになります。

これまで、JICA や筑波大学、そして HG 専門家ならびに日本の民間企業や学校、そして HG 本部所在の岡山県や岡山市の協力を受けて、ヒト・モノ・カネによるバランスの取れた支援が展開されていますが、未だ、施設不足、教員不足、人材不足、資金不足に悩まされています。引き続きご協力を頂きますよう、お願いします。

## スポーツ施設支援

カンボジア、クラティエ州クラチエ市  
のクラチエクロン小学校（生徒数 473 人、  
教員数 24 人）とクラコ一小学校（生徒  
数 408 人、教員数 17 人）に、バスケット  
ボールコート、バレーボールコート、  
雲梯、砂場、鉄棒、サッカーゴールを設置。  
この2校は、クラティエ州の小学校体育  
科推進のための指定モデル校。体育の授  
業も始まり、健やかな心と、丈夫な体つ  
くりに、これらの施設が役立ちます。



# 「カンボジア王国体育科教育関係者短期招聘事業」

## 自治体国際化協会（CLAIR）助成事業



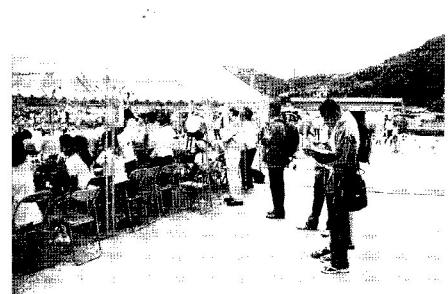
岡山市長 表敬訪問



プール授業の見学



保健体育課担当官のレクチャー



運動会の見学



授業見学後、担当教諭への質問

いくことができるだろう。

### □研修機関および協力機関

以下のとおりです。お世話になりました皆様に、心よりお礼申し上げます。

岡山市立福島小学校、同中山小学校、同芳泉中学校、岡山大学教育学部附属小学校、岡山学芸館高等学校、岡山大学教育学部保健体育講座、きよね夢てらす、岡山県渋川青年の家、岡山外語学院、エイコーススポーツ、アニモ・ミュージアム、岡山市、岡山県、アジアの風研修センター、両備ホールディングス株式会社

岡山市と連携して、現在展開中の「カンボジア王国小学校保健体育科振興事業事業」にて中心的な役割を担っているナショナルトレーナー（NT）を、岡山の小中高等学校ならびにスポーツ教育施設で研修実施のため招聘。5月30日にカンボジア王国教育青少年スポーツ省の学校体育スポーツ局ブルム・ブンジー局長以下、行政官7名と、HGアジア地域事務所のプロジェクト・リーダーであるケオ・ソチェトラが来日、来岡。また、山口拓司所長も同行のため、帰国。彼らは、先の「カンボジア王国小学校保健体育科指導要領作成支援事業」（2006-2008）で、指導要領、指導書を作成したメンバーがほとんどですが、実際に既存の体育の授業を見たのは初めて、という方もいらっしゃる中、岡山市教育委員会保健体育課ならびに、岡山県教育厅保健体育課のサポートのもと、運動会、体づくり運動、プール授業、放課後子どもクラブや部活動などを見学されました。各研修先であたたかく迎えられ、大変有意義な2週間を過ごされました。授業見学後の担当教諭からのフォローや資料の提供など、きめ細かな調整をいただきました。日本とカンボジアの国とでは、状況は大きく異なるので、今後、カンボジアの現状に合った形に変え、とり入れいかれるそうです。

### □研修中の NT の感想

日本はきれいな道が多く、インフラの整った、開発の進んだ国だということを再認識した。また、日本人は礼儀正しく、規則をちゃんと守る国民である。私たちは心のこもった挨拶ともてなしを受け、研修、見学に関しては、多大なご尽力に感謝している。各学校の校長先生をはじめ、ご担当の先生方から、好意的なご協力を頂いた。

学校は、運動するためのスペースが広くとられ、設備や道具も整備されており、体育教育の授業が効果的に実施できている。先生達は十分な知識を持っており、指導方法が効果的ですばらしい。小学生から高校生まで生徒達は積極的に体育教育の授業を受けており、よく理解している。先生と生徒達は将来のために、よく頑張っていると感じた。

日本のように、部活動や課外活動に対して PTA からの理解を得ることにより、より早くそれらの導入を進めて

## ◆活動報告会

### 「カンボジア－小学校体育教育のはじまり」

6月5日(日) 14時より、岡山市デジタルミュージアムにて、活動報告会を行いました。

JICA草の根パートナー型技術協力事業として、同国教育

省とともに「カンボジア王国小学校保健体育科指導書作成支援事業」(2006-08)を実施、現在は、「カンボジア王国小学校体育科教育振興事業」(2010-12)を行っています。

途上国で体育の授業が始まるということの過程と困難、そしてその意義と成果、今後の展望など、事業に直接携わるそれぞれの立場から報告がされました。

#### \*報告者：

山口 和敏氏 (JICA中国国際センター市民参加協力課)

ドク・キリロアット氏 (カンボジア王国教育・青年・スポーツ省学校体育スポーツ局副局長、ナショナルトレーナー)

山口 拓 (HGアジア地域事務所長、プロジェクトマネージャー)

岡出 美則氏 (筑波大学大学院人間総合科学研究科教授)

森 衍子氏 (岡山市立御津中学校教諭、2009/04-2011/03公務員自己啓発研修制度を利用してHGアジア地域事務所にて勤務)

ファシリテーター：小川秀樹氏 (岡山大学国際センター教授)



## カンボジア王国小学校 保健科教育支援事業

2009～2010年度と2年間に渡って実施してきた小学校保健科教育支援事業が3月をもって終了しました。

スバイリエン州の対象小学校教員の保健科教育知識と指導技術の向上を目指し、日本からの専門家を招いての教員育成講習会や巡回モニタリング指導などを行ってきました。

これらの活動を通して、指導計画・教材作成及び活用・指導方法・評価について学んできた対象6小学校の教員等は、巡回モニタリング指導の回数を重ねるごとに、流れのある授業作りや効果的な指導方法の導入が可能になりました。また講習会などで学校間の垣根を越えた活発な意見交換が行われたことで教員同士が高め合う良い機会となりました。

昨年8月の第1回講習会実施時に比べ、12月の講習会実施後の調査では、授業実施の際に教材を毎回使用する教員が27%から63%へ増加、「頻繁に使用する」という回答と合わせると実に90%の参加者が教材を使用するようになったことがわかり、生徒の理解度を確認するための評価を実施する教員も36%から85%に増加し、参加教員等の保健科教育実施における改善が見受けられました。スバイリエン教育局の担当者や各学校の校長先生からも、参加教員の保健科教育実施頻度の増加や学習内容の理解が進み、よりよい授業実施が行われているという意見が寄せられました。保健教育は命を守る授業であり、カンボジアにとっても重要な部門として広がっていくことを期待しています。

これまで専門家の先生方や小中学校の皆さんをはじめ多くの方々にご支援・ご協力頂きました。皆様ありがとうございました。

## 第1回淀川国際ハーフマラソン

LOVE 遊 淀川 みんなで淀川河川公園をきれいに！

主催：サンケイスポーツ 共催：(財)河川環境管理財団  
特別協賛：学校法人常翔学園 協賛：摂津水都信用金庫



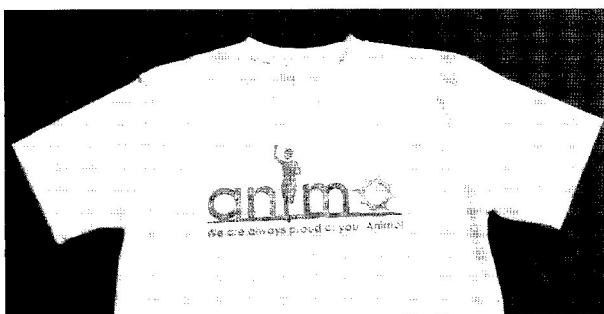
3月20日(日)、大阪の淀川河川公園にて、当初予定していたHG支援を、急遽、震災復興支援のチャリティ・レースに変更して開催されました。3月11日の大震災により各地のマラソン大会が中止となるなか、参加ランナー5,844名、多くの関係者、ボランティアの方々が、それぞれの思いを胸に、復興を強く願った一日となりました。

募金では982,185円の善意と、ランナーによる100円募金の784,400円が、大会をとおして「3.11子どもanimōプロジェクト」に寄付されました。また、大会参加Tシャツも、ランナーの方より被災地への支援「リターンTシャツ」としてたくさんいただきました。

## HGオリジナルTシャツ 新作登場！

「3.11子どもanimōプロジェクト」のanimō(アニモ)Tシャツができました。売上収益のすべてが、同プロジェクトをとおして、被災地の子ども支援に充てられます。

白地にブルーを基調としたロゴ入り。ポリエステル100%で、S、M、L、LLの4サイズを用意しています。価格は、2,000円。



## 第31回篠山ABCマラソン大会

主催：篠山市、朝日放送、兵陸上競技協会  
主管：篠山市陸上競技協会  
協賛：日本臓器製薬株式会社

3月6日(日)、朝から次第に冷え込み、スタート後は雨が降るなか、1万人のランナーが早春の丹波路42.195kmを疾走しました。HGブースには、多くのランナーや地域の方々にお越しいただきました。



## HGランナーズエイド

日本全国に、HGをとおしてカンボジア復興支援を行っていただいているマラソン大会、イベントがあります。

かすみがうらマラソン(上浦市)や篠山ABCマラソン大会などの大きな大会から、地域の方が中心となって行うアットホームな大会まで、さまざまです。そのうち、HGブースを出店する時には、ボランティアの方の協力がなくてはなりません。一年に一回、大会当日にお会いする方、遠方まで足を運んでくださる方、どちらもさまざまです。

ランナーとして参加される会員さんもHGブースに集まり、情報交換や近況報告などをされています。

9月18日開催予定の「第5回吹田中の鳥チャリティ・ラン」では、参加者、そして当日のボランティアスタッフを募集中です。詳細は、大会要項をご覧ください。

## バレンタイン・チャリティ・ディナー

2月10日(木)、ホテルアジュール竹芝(東京港区)にて華やかに開催しました。

今年は、クリスマスではなく、バレンタインの時期に合わせてみました。HGの活動紹介から、恒例のチャリティ・オークション、岸田敏志さんのミニ・ライブ、くじ引きなど楽しい企画が盛りだくさんでした。

チケット売上、オークション、募金箱、寄付金など合わせて総額3,966,744円となりました。皆様方のお心を大切に活動資金として使わせていただきます。実行委員会の皆様にも心より感謝いたします。

## カンボジアで学んだこと

### 森 裕子

この2年間で私が国際協力・国際交流において大切なこと感じたことは「違いを知る」「ともに活動する」「続ける」「つながる」「できることをする」の5つです。

「違いを知る」 私はカンボジアに行ってたくさんの違いに出会いました。面白いなと思った違いもたくさんあるのですが、日本人の文化や感覚において戸惑うものもありました。しかし、違いには背景や意味があるのだということが改めて分かってきました。また、違いを知ると、それは自分を知ることにつながっていきます。そしてお互いに違うからこそ、それぞれ、また、一緒にどこを目指すべきなのか見えてくるのだろうとも思います。

「ともに活動する」 現地のHGスタッフは、カンボジアの人たちと時には寝食を共にしながら、失敗も成功も共有し、その中から課題を見つけ新たなチャレンジを続けています。一緒に活動をすることでお互いの文化や習慣の違い、考えを知り、理解、共有していく、その中で本当の実態やニーズを知ることもできるのではないかと思います。

そして、課題解決のために粘り強く活動を「続ける」。表に出ない活動もあるし、報われないこともあるけれど、続けることでわかること、実現することができます。また、互いのきずなも固くなっています。

「つながる」 そして、つながるそれが、自分の「できることをする」。プロジェクトの背後にはそれを支える、多くの人のつながりがあるのだと知りました。一つの活動を日本で、カンボジアで、多くの人のつながりが支えているのです。そのすべてが表に出るわけではないのだけれど、一人ひとりが「できることをする」、そのつながりが、誰かに勇気を与え、その夢を支えているのです。たとえ小さなことでもいい。私にも、「誰かの役に立てる、できること」がある。そのことは、私に勇気をくれました。私は休

職期間を終え、日本の学校現場に戻りました。現地のみなさんと共に活動することはできませんが、この場所でできることを探して挑戦していきたいと思っています。

写真は、御津中学校の生徒会が呼びかけをし、集めたお金を使って作成したマットです。カンボジアの子ども達の笑顔を見ることができ、また同時に御津中の子ども達も、役に立てたという喜びを感じています。この小さなつながりを大切に、これからも日本のお子様とカンボジアの子

## 活動報告（2011年前半）

- 2/10 HG バレンタイン・チャリティ・ディナー（東京）  
2/13 HG 西日本チャリティ耐寒登山（大阪）  
3/1 絆サロン有森講和（東京）  
3/6 第31回篠山ABCマラソン大会（篠山）  
3/13 岡山ESD報告会  
3/20 第1回淀川国際ハーフマラソン（大阪）  
3/21 HG 日本語教室からの第4期留学修了  
カン・ナムアオイさん帰国（岡山）  
3/27 HG 日本語教室からの第5期留学開始  
テン・ワンニダーさん来日（岡山）  
4/17 HG 東日本会員交流会（東京）  
4/24-27 代表・事務局長被災地にて活動  
5/16-19 石巻現地ボランティア派遣  
5/15 2011.11 ARIMORI CUPマラソン大会（北海道むかわ町）  
5/29-6/10 「カンボジア上国体育科教育関係者短期招聘事業」  
カンボジア行政官7名来日、研修実施（岡山）  
6/3-5 石巻現地ボランティア派遣  
6/5 HG 現地活動報告会  
「カンボジア - 小学校体育教育のはじまり」（岡山）  
6/16 HG 定例理事会・総会、会員交流会（岡山）

## 活動予定（2011年後半）

多少の変更あり  
\*印、有森代表参加

- 7/5-7 3.11子ども animo プロジェクト派遣（石巻）  
7/6- 岡山県ローカル・トゥ・ローカル技術移転事業  
ゲエ・チョンパーさん来岡  
7/11- アジア事務所インターン派遣（中田修平さん）  
7/15-22 体育科指導会専門家ミッション（プノンペン）  
7/17 日本ドラゴンボート選手権大会  
8/6 \*ピースラン（広島）  
8/19-21 「あそぼう、学ぼう、サマーキャンプ」  
9/18 \*第5回吹田中の島チャリティ・ラン（大阪）  
10/2 雄勝健康マラソン（秋田）  
10/8 \* HG チャリティ・イベント in おもちゃ王国  
(岡山県玉野市) 協力：日本警察消防スポーツ連盟  
10/16 ヒロシマ MIKAN マラソン（広島・江田島）  
11/27 \*第36回河口湖日刊スポーツマラソン（山梨）  
12/1 \*スタディ・ツアーレース2011 出発（各空港より）  
12/2 \*アンコール・ウォーキング  
12/3 \*ランニング教室・AWHM 前夜祭  
12/4 \*第16回アンコールワット国際ハーフマラソン  
12/18 カモンR美容室チャリティ・カット（岡山）  
12/21 \*カモンR美容室チャリティ・トーク（岡山）  
12/23 \*第30回山陽女子ロードレース大会

ども達の交流をお手伝いできたらいいなと思っています。最後になりましたが、HGの皆さんをはじめ、これまで支えてくださった多くの方々に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。